

安全対策連絡協議会 開催報告

1. 開催日時：平成27年5月14日
2. 開催場所：在オークランド総領事館
3. 出席者：オークランド日本人会役員14名
当館：横山総領事ほか
4. 主な議題
 - (1) 総領事挨拶～開催の意義と目的～
 - (2) 世界の主な事件・事故 平成26年度の回顧
 - (3) NZの治安情勢及び当館管轄地域の一般犯罪
 - (4) 当地治安に関する意見交換
5. 日本人会役員からの主な発言

<テロに関して>

当館から冒頭挨拶の中で、「NZ政府が本年2月にイスラム過激派組織I S I Lと闘うイラク軍の能力を高めるため143名の軍人派遣を決定しており、現在その大半がイラクに到着したと報道されている。このようにNZがI S I Lとの闘いに参加したことは、NZの治安を考慮する上で新たな要素が加わったとも見ることができると思う。現在NZのテロ脅威度は『とても低い』から『低い』に一段階上昇している」旨述べたのを受け、出席者から「NZのテロ危険度はこれから米豪のレベルに近い位置づけになると思われる。理由として、①テロ対策において英・米・豪の同盟国と見なされる、②NZは中近東や南米をはじめ、多くの国々に対し査証免除をとっていることに加え難民を多数受入れているため、危険人物が紛れ込む可能性があること、③偏見や差別のために、特定の宗教や民族のいなど、社会的不安をもたらす。」との発言があった。

<一般犯罪に関して>

- (1) 最近オークランドでは週に1～2回、銀行強盗が起こっており、こうした犯罪に巻き込まれる確率が高い。
- (2) 民族間や、ギャング組織間での争いに巻き込まれないよう、オークランド市内でも地元でない場所においては絶えず注意を要する。
- (3) 国連によると、OECD諸国の中で、NZはDVの発生率が上位。

6. 最後に総領事から、テロや重大事件・事故が発生した場合の邦人安否確認について、日本人会に対し協力を要請し、会を終了した。

